

## 日中歴史海道2000年展

海上の道を通じて日本は中国と交流し、文化を育んできました。なかでも日宋・日明貿易、また1868年の開港を通じ「歴史海道のターミナル」であったのが神戸のミナトです。

特別展『日中歴史海道2000年』は、震災復興事業の関連企画「大長江節（フェア）」の一環として開催したもので、稲作文化が伝播した時代から開港場となった近代までの文化交流を、神戸の役割に注目しながら、歴史的・文化的につながりの深い長江流域との交流に重点をおき、プロローグ、中国と結ばれた神戸のミナト、中国文化の伝来と影響、鎖国の中の交流、開港と在神中国人たちにわけ、構成しました。

日中の文化交流を代表する名品とともに、孫文の手紙などの初めて公開される資料、400年ぶりにお里帰りした南禅寺一切経、初めて3種類が揃った兵庫北開入船納帳など、約216件の資料の数々をとおして交流の多様性をあらかず展覧会となりました。展覧会の内容をより親しみやすいものにするため、新たにビデオの2番組（日宋・日明貿易と神戸約7分、開港と在神戸中国人たち約7分）を制作し、上映しました。またNHK提供のハイビジョン『悠久の長江～中国・三峡のパノラマ紀行～』も上映しました。



長崎港図・ブロンホフ家族図衝立



遣唐使船模型

会期／平成9年8月2日（土）～9月15日（月・祝）

会場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2

主催／神戸市立博物館、日中上海・長江一神戸・阪神交易促進日本委員会、神戸市教育委員会、神戸新聞社

後援／中華人民共和国駐大阪総領事館、兵庫県教育委員会、神戸華僑總會、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、AM神戸

協賛／みどり銀行文化振興財団

開催日数／39日

入館者数／14,287人

出品件数／216件